

西日本豪雨災害への今後の取組見通し

平成30年7月24日

危機管理防災部

1 倉敷市への対口支援について

- ・ 現在職員派遣を行っている物資集積所・避難所運営業務及び住家被害認定調査業務について、業務の進捗状況を見ながら8月中旬～下旬くらいまでの支援を見据えていく。
- ・ 被災地での業務は重労働で、被災した家屋に入る可能性もあるなど危険が伴う。猛暑が続いている現状も踏まえ、派遣職員の安全管理、体調管理に万全を期していく。

2 全国知事会を通じた支援ニーズの把握

- ・ 引き続き、全国知事会を通じて被災地の支援ニーズを把握し、要請があれば迅速に対応できる準備をしていく。

3 復旧・復興を見据えた支援の検討

- ・ 復旧・復興のフェーズを迎えるのに備え、道路・河川・砂防施設等の災害復旧業務や応急仮設住宅の整備業務など、中長期派遣の要請に迅速に対応できるよう準備を進めていく。

4 派遣職員の経験・ノウハウの継承

- ・ 被災地への派遣は、大規模災害が少ない本県にとっては極めて貴重な経験であり、そこで得た経験やノウハウを他の職員に広げていくよう、帰庁報告会の開催や派遣事例情報のストックなどを行っていく。